



必要な部分だけ必要な明るさで照らすタスク&アンビエント照明が採用されたオフィス。右手前は卓球台にもなる執務テーブル

中電工業株式会社

タスク&アンビエント照明と配線ダクトで 集中できるフレキシブルな空間に

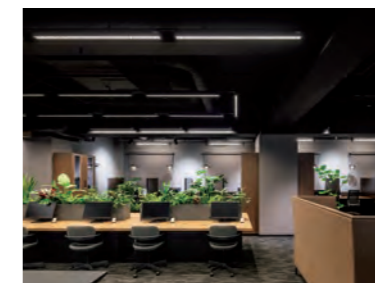
1952年の創業以来、中国電力グループの一員として電力事業の一端を担ってきた中電工業株式会社は、電力自由化など時代の変化を見据え、2007年度から塗装工事および建築工事を中心とした事業を展開している。2023年12月には大規模な本社オフィスのリニューアルが行われた。その際にはオフィス設計にABWの要素が取り入れられ、黒色のスケルトン天井のゾーンを設けたり、カウンター席や窓際集中ブース、ミーティングやイベントも開催できる多目的ブースを配置するなど、作業内容に合わせて選べるように

雰囲気も異なる多様なワークスペースが準備された。不動産事業部の桐山 都貴子氏は「照明手法にタスク&アンビエント照明を採用し、全体を均一に明るくするのではなく、必要などころに必要な明かりを灯すことで無駄な消費電力を抑えると同時に、それぞれのブースに合った明るさや雰囲気、立体感を生むことに成功した。また、スケルトン天井によって高く開放的な空間を創り出し、オフィスのレイアウト変更にも柔軟に対応できるように配線ダクトを採用してライン照明やスポットライトを接続。さらに、カフェブースにはワイヤレススピーカーを設置して心地良い音楽が流れる空間を実現した」と語る。



中電工業株式会社

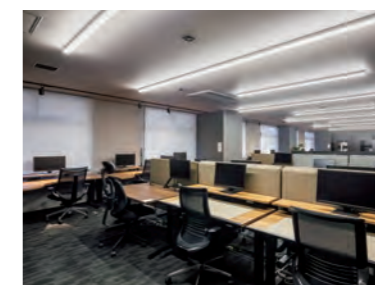
■オフィスリニューアル工事
所在地 / 広島県広島市南区出汐
事業主 / 中電工業株式会社
電気工事 / 株式会社中電工
リニューアル竣工 / 2023年12月



デスクワークに集中できる黒色のスケルトン天井



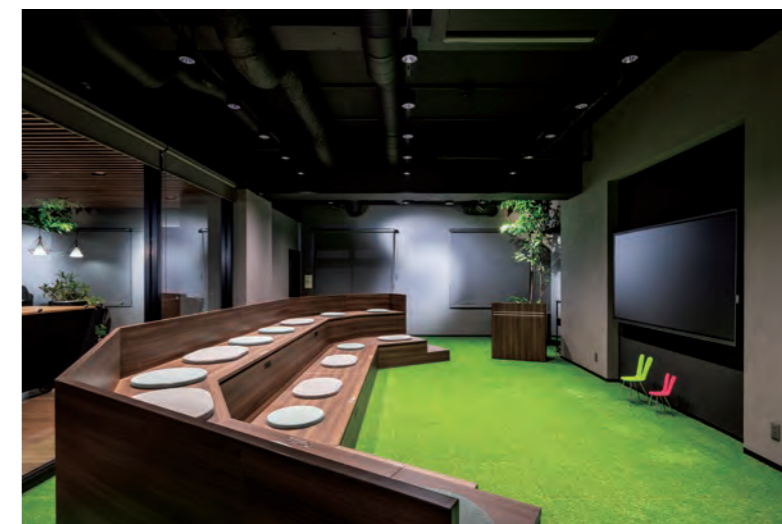
原寸スケールのステッカーが貼られたサインボード



多機能デスク&名作椅子ブースに採用されたLEDライン照明



窓際集中ブースのLEDペンダントライト



ミーティングやイベントに使われる多目的ブースでは画面に光源が映り込まないグレアカットタイプの小型シーリングライトが配置されている

主な納入設備

- LEDベースライト
- LEDスポットライト
- LEDダウンライト
- LEDペンダントライト
- ワイヤレススピーカー